

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report
AICHI Infectious Diseases Monthly Report

2023年 49週 (12月1週 12/4~12/10)
2023年 11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)
<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansentop.html>
E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp
連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◆トピックス

インフルエンザ、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖などの措置状況、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ダニ媒介感染症、年末年始の海外渡航者に対する感染症予防啓発

◆定点医療機関コメント

インフルエンザ、アデノウイルス感染症、COVID-19、A群溶血性レンサ球菌感染症等

◆全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(17)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、つつが虫病(2)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(3)、急性脳炎(5)、クリプトスポリジウム症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(6)、水痘(入院例に限る。)(2)、梅毒(12)、百日咳(2)

◆2023年 11月報

◆定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆ インフルエンザ【11月9日警報発令】(図1)

49週の定点当たり報告数は32.88、48週4,879人→49週6,411人(1.31倍)です。2023/2024シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりインフルエンザウイルスA型(AH1pdm09 11件、AH3 86件)が検出されています。

【参考ページ】インフルエンザ警報を発令します！(11月9日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/influenza20231109.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ(愛知県)

https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

愛知県インフルエンザ情報ポータルサイト

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/influ.html>

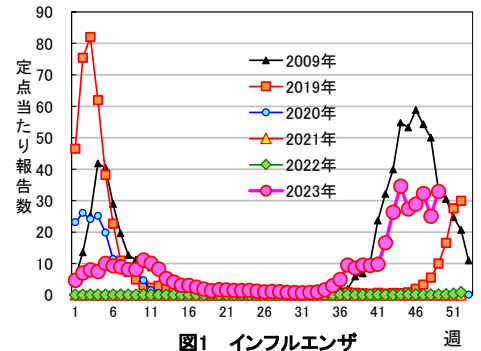


図1 インフルエンザ

◆ インフルエンザ様疾患による学級閉鎖などの措置状況

決定日	管轄保健所(名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市及び豊田市は除く)	【参考ページ】
12月4日	瀬戸、半田、豊川、津島、西尾、江南、新城、知多、清須、衣浦東部	愛知県：インフルエンザ様疾患発生報告(2023-2024シーズン) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/shudankaze.html
12月5日	瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、衣浦東部	
12月6日	瀬戸、春日井、豊川、江南、知多、清須、衣浦東部	
12月7日	瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、新城、清須、衣浦東部	
12月8日	瀬戸、半田、豊川、津島、西尾、江南、知多、清須、衣浦東部	

◆ 咽頭結膜熱(図2)

49週の定点当たり報告数は2.57、48週545人→49週468人(0.86倍)です。

◆ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図3)

49週の定点当たり報告数は3.49、48週567人→49週636人(1.12倍)です。

◆ ダニ媒介感染症

ダニ媒介感染症は、病原体を保有するダニに刺咬されることで感染し、つつが虫病や日本紅斑熱等があります。野外活動する際には、ダニに対する暴露・感染予防対策が重要です。愛知県において、2023年は49週(診断週)までに、つつが虫病19件、日本紅斑熱9件、重症熱性血小板減少症候群1件、ライム病1件が報告されています。

【参考ページ】ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

◆ 年末年始の海外渡航者に対する感染症予防啓発

【参考ページ】海外へ渡航される皆様へ(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

FORTH(厚生労働省検疫所)

<https://www.forth.go.jp/index.html>

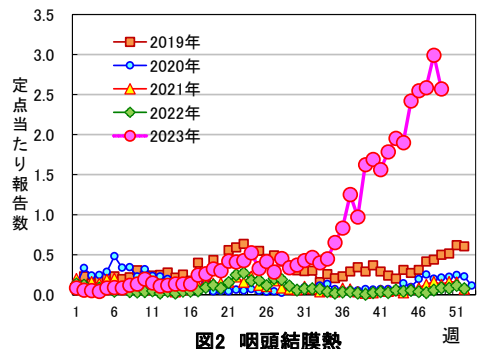


図2 咽頭結膜熱

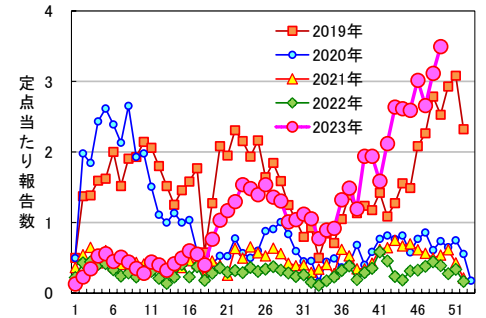


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- インフルエンザ 全例A型
【一宮市 森瀬内科】
- インフルエンザA 39名
covid-19 5名(やや増加)
アデノウイルス感染症 3名
溶連菌感染症 5名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- COVID19 3例
アデノ 13例
A型インフル 49例(そのうち1例がH1N1pdm)
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- COVID-19 3名
A型インフルエンザ 112名
溶連菌 41名
インフルエンザは今季2度目の3桁です。
インフルエンザに混じって、なぜか手足口病
散見されました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザA 81名(増加)
COVID-19 18名(少しずつ増加傾向)
アデノ検査キット在庫切れ 入荷時期未定
【犬山市 くわばらクリニック】
- インフルエンザ 20人
【北名古屋市 田中クリニック】
- インフルエンザA 29人
COVID-19 1人
胃腸かぜ 増えてきました。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザB型 3名、今季初です。
A型は減ってきました。
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザ 全てA型 (33名)
COVID-19 2名
溶連菌感染症、アデノウイルスも多くみら
れております。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
 - A型インフルエンザ 25人
COVID 1人
【長久手市 医療法人水野内科】
 - インフルエンザA型 40名
covid-19 12名
【日進市 みやがわクリニック】
 - インフル 38例
アデノ 9例
溶連菌 8例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
 - 一か月以内に FluAに2回罹患した人が2人
いた。
【小牧市 志水こどもクリニック】
 - インフルエンザA型 40名
COVID-19 5名
【南知多町 医療法人大岩医院】
 - 該当なし
【常滑市 常滑市民病院】
 - インフルエンザA型が多い。
コロナが増えてきた。
溶連菌感染症が多い。
感染性胃腸炎も目立つ。
【大府市 みどりの森クリニック】
- [11月報 STD 定点コメント]
- 該当者なし
【常滑市 常滑市民病院】

西三河地区

- インフルエンザA型 21名
同B型 1名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルB 2名
インフルA 29名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルエンザ 47例 A45例 B2例
ノロウイルス 男4歳
アデノウイルス感染症 8例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ感染症 2例B型 (79例中)
病原性大腸菌O1 2歳男
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 2名
COVID-19 1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザA型 62人
インフルエンザB型 0人
インフルエンザ型不明 0人
【岡崎市 いわせこどもクリニック】
- インフルエンザいますが、減少傾向です。
溶連菌感染症とアデノウイルスが先週と同様
おります。
【碧南市 永井小児クリニック】
- 全てA型インフルエンザ
【安城市 医療法人鳥居医院】
- アデノウイルスキットが手に入りません。
【知立市 宮谷クリニック】

東三河地区

- インフルエンザA型 流行中
今年 2 回目のインフルエンザA型感染者が
時々います。
感染性胃腸炎 流行中
A群溶連菌感染症が時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- 咽頭結膜熱 33歳男1名
【豊橋市 富安眼科】
- インフルエンザA型陽性 7名
(他にみなし陽性 複数人)
コロナ 1名
溶連菌 2名
ヒトメタニューモ 1名
【新城市 新城市民病院】
- アデノウイルス(咽頭結膜熱以外) 7名
【蒲郡市 畑川クリニック】
- [11月報 STD 定点コメント]
- トリコモナス尿道炎 1例
トリコモナス症 1例
マイコプラズマ子宮頸管炎 1例
【豊橋市 古島クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2023年12月13日現在

一類～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijyun230925.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2023年49週報告数			2023年総計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	5	2	1	392	73	149
豊田市				36	6	8
豊橋市	1			46	7	20
岡崎市	3	1	1	31	12	7
一宮市	3		3	61	23	20
瀬戸				77	16	30
半田				22	4	3
春日井				37	6	11
豊川				27	6	9
津島	2	1		66	13	18
西尾				18	2	8
江南				37	8	7
新城				8	1	2
知多	2		1	39	3	14
清須	1		1	26	4	4
衣浦東部				44	8	12
合計	17	4	7	967	192	322

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	84歳	男	11/25	11/23	12/4	○血清型不明、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）						
● つつが虫病（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域		
1	名古屋市	47歳	女	愛知県 豊田市		
2	岡崎市	41歳	男	愛知県 岡崎市		
● レジオネラ症（四類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	春日井	68歳	男	肺炎型	国内	
2	衣浦東部	80歳	男	肺炎型	国内	
3	衣浦東部	56歳	男	肺炎型	国内	
● アメーバ赤痢（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	61歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
● カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	89歳	男	不明	国内	無
2	瀬戸	74歳	男	手術部位感染	国内	無
3	衣浦東部	85歳	男	不明	国内	無
● 急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域	
1	名古屋市	2歳	女	インフルエンザウイルスA	国内	
2	名古屋市	68歳	男	HSV-1	国内	
3	豊川	1歳	女	病原体不明	国内	
4	豊川	4歳	女	病原体不明	国内	
5	江南	10歳	男	インフルエンザウイルスA	国内	
● クリプトスポリジウム症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域		
1	衣浦東部	48歳	男	国内		
● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	40歳	女	AIDS	性的接触	不明
● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	80歳	男	無	国内	

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	名古屋市	54歳	男	不明	国内	
2	瀬戸	32歳	男	不明	国内	
3	豊川	3歳	女	有（追加接種有）	国内	
4	清須	69歳	男	不明	国内	
5	衣浦東部	2歳	女	有（追加接種有）	国内	
6	衣浦東部	1歳	男	有	国内	
● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域	
1	岡崎市	89歳	女	無	国内	
2	知多	59歳	男	無	国内	
● 梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	53歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	40歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	57歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	29歳	女	無症候	性的接触	国内
5	名古屋市	0歳	男	先天梅毒	母子感染	国内
6	名古屋市	22歳	女	早期顕症	性的接触	国内
7	豊橋市	54歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	一宮市	58歳	男	早期顕症	性的接触	国内
9	一宮市	29歳	女	無症候	性的接触	国内
10	津島	27歳	女	早期顕症	性的接触	国内
11	西尾	52歳	男	早期顕症	性的接触	国内
12	衣浦東部	40歳	男	早期顕症	不明	国内
● 百日咳（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等	
1	名古屋市	14歳	男	有（追加接種有）	国内	
2	衣浦東部	0歳	男	無	国内	

2023年11月報

(2023年12月12日現在、診断週(新型コロナウイルス感染症は報道発表日)に基づく集計)

11月の一～五類、新型インフルエンザ等感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2022～2023年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2023年11月			2023年	2022年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	【対象となる7疾病】	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	59 (16)	43 (18)	102 (34)	945 (312)	1,080 (345)	
新型インフル エンザ等 (4) *	新型コロナウイルス感染症 *	-	-	-	276,991	1,737,899	
三類 (5)	腸管出血性大腸菌感染症	12 (4)	2 (1)	14 (5)	150 (36)	154 (29)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	
四類 (44)	E型肝炎	0	1	1	8	2	
	A型肝炎	0	0	0	2	1	
	エムポックス **	0	0	0	4	0	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	1	
	チクングニア熱	0	0	0	0	2	
	つつが虫病	15	1	16	18	17	
	デング熱	1	1	2	11	9	
	日本紅斑熱	1	0	1	9	5	
	マラリア	0	0	0	2	3	
	ライム病	0	0	0	1	0	
	類鼻疽	0	0	0	0	2	
	レジオネラ症	8	3	11	139	163	
	レプトスピラ症	0	1	1	3	1	
五類 (24)	アメーバ赤痢	2	2	4	33	31	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	10	6	
	内訳	B型	0	0	0	6	5
		その他	0	0	0	4	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌目細菌感染症 **	17	7	24	155	161	
	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	1	2	
	急性脳炎	6	1	7	45	24	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	7	13	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	0	4	52	53	
	後天性免疫不全症候群	1	4	5	80	70	
	内訳	無症候性キャリア	0	2	2	54	45
		AIDS	1	2	3	25	22
		その他	0	0	0	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	41	22	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	10	18	129	100	
	水痘 (入院例に限る。)	3	1	4	28	23	
	梅毒	無症候	6	10	16	203	185
		早期顕症	29	15	44	558	573
		晚期顕症	0	0	0	10	9
		先天梅毒	0	2	2	7	1
		播種性クリプトコックス症	0	0	0	9	9
破傷風	0	0	0	8	6		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	3	0		
百日咳	3	5	8	38	10		
麻しん	0	0	0	2	0		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	3	0		
総 計		177	109	286	279,710	1,740,643	

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症」の位置付けがCOVID-19として5類感染症の定点把握に変更されたため、上記表には2023年5月7日分までを計上しています。

** 2023年5月26日から以下の2疾病について、届出基準及び届出様式が改正されました。

(改正前)サル痘→(改正後)エムポックス

(改正前)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症→(改正後)カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2023年11月			2023年 累計		2022年 総計			
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体			
				合計	合計	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	35	83	118	1,318	2,095	1,385	2,148
		女	47	28	75	777	763	728	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	11	26	37	406	772	375	728
		女	19	20	39	366	353		
	尖圭コンジローマ	男	8	18	26	314	431	344	467
		女	7	5	12	117	123		
	淋菌感染症	男	19	35	53	628	745	827	953
		女	10	5	15	117	126		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		55	10	65	720	772	772	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4	2	6	33	27	27	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	1	1	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2023年11月			2023年 累計		2022年 総計	
	愛知県 <small><名古屋市除く></small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	0	0	0	0	0	3	3

感染症の類型及び定義(感染症法)

2023年5月8日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症
三類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起しうる感染症
四類感染症 (44疾病)	人から人への感染はほとんどないが、動物、飲食物等の物件を介して感染するため、動物や物件の消毒、廃棄などの措置が必要となる感染症
五類感染症 (49疾病)	国が感染症発生動向調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を一般国民や医療関係者に提供・公開していくことによって、発生・拡大を防止すべき感染症
新型インフルエンザ等感染症 (4疾病)	<p>【新型インフルエンザ又は新型コロナウイルス感染症】 新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とする感染症であって、一般に国民が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p> <p>【再興型インフルエンザ又は再興型新型コロナウイルス感染症】 かつて世界的規模で流行した感染症であってその後流行することなく長期間が経過しているものとして厚生労働大臣が定めるものが再興したものであって、一般に現在の国民の大部分が当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、当該感染症の全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいう。</p>
指定感染症	既知の感染症の中で、前記一～三類に分類されない感染症において一～三類に準じた対応の必要が生じた感染症(政令で指定、一年限定)
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既知の感染症と症状等が明らかに異なり、その伝染力及び罹患した場合の重篤度から判断した危険性が極めて高い感染症

* 2023年5月8日に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の位置付けが5類感染症の定点把握に変更されました。

グラフ総覧

2023年49週(12月4日～12月10日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2023年49週までの定点(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<https://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

